

RFID (近距離無線通信) ソリューションビジネスの調査を実施

RFIDタグ市場は6年後の2013年に6.1倍の518億円

マーケティング&コンサルティングの株式会社富士キメラ総研(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 田中 一志 03-3664-5841)は、製造や流通・物販・サービス、物流など様々な分野・用途で導入が進んでいるRFIDソリューション市場を調査した。その結果を報告書「RFIDソリューションビジネスの将来展望 2008」にまとめた。

この報告書ではRFIDタグ、RFIDリーダー/ライター、RFIDプリンタを対象に、製造や物流、流通・販売・サービスなど、分野ごとの市場分析を行うとともに、主要ベンダ20社の事業戦略の事例を取り上げている。

<調査結果の概要>

1. RFIDソリューションビジネスの市場予測

2007~2013年

	2007年	2013年予測	07年比	年平均成長率
RFIDタグ	85億円	518億円	6.1倍	35.2%
RFIDリーダー・ライター	108億円	370億円	3.4倍	22.8%
RFIDプリンタ	7億円	20億円	2.9倍	19.1%
その他	377億円	2,911億円	7.7倍	40.6%
合計	577億円	3,819億円	6.6倍	37.0%

「その他」はRFIDシステム導入に伴う、コンサルティングや導入検証、ミドルウェアや各種アプリケーションのソフトウェアなど、及びシステムの運用・保守等を対象。

07年のRFIDソリューションビジネスの国内市場は577億円となった。内訳はRFIDタグが85億円、RFIDリーダー・ライターが108億円、RFIDプリンタが7億円、その他が377億円である。物流分野、流通分野で期待されていた複数拠点間、複数企業間でのRFID活用が思うように進まなかったこともあり、07年もクローズドシステムでの利用が中心で、RFIDのタグ、リーダー・ライター、プリンタの全てが微増に止まっている。2010年までは微増の状態が続くと見られるが、RFIDの普及・拡大が加速すると見られる2011年以降から本格的にRFIDの市場が拡大していくと推測される。

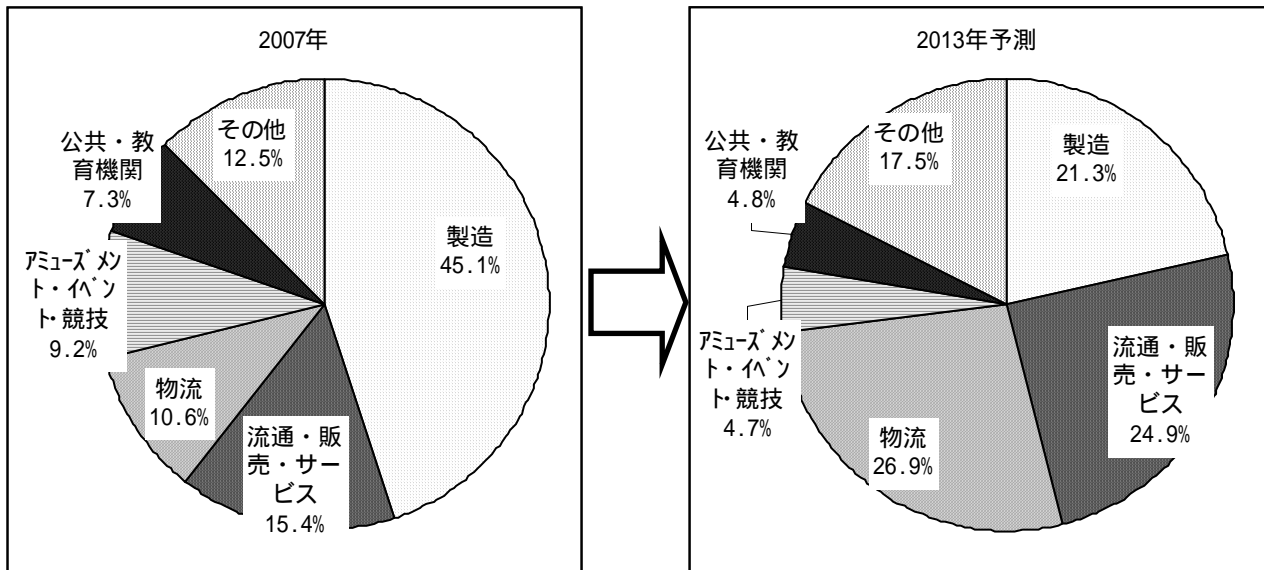
RFIDタグのうち、13.56MHz帯は02年9月の電波法(高周波利用設備)改正を受け、発信距離が60cmにまで緩和され、利便性が高くなり導入が加速している。2.45GHz帯(無電池)に関しては、最大2mの発信距離を持ちながら小型化が容易な点や金属面での読取りに適している点、安価である点などから普及が進んでいる。また、05年4月の省令改正により952~954MHz帯が割振られたUHF帯タグは06年より実証実験で利用が開始され、今後13.56MHz帯と並んで普及が進み、RFIDタグ市場の中心になると期待される。

RFIDリーダー・ライターは、RFIDタグが普及しなかったこともあり、当初の想定よりも伸び幅は小さくなってきている。形状別では、ハンディ型の伸長率が高くなっている。物流倉庫や工場での検品作業等ではハンディ型のリーダー・ライターを好む傾向が強く、物流分野、流通分野での普及が進むにつれ、販売数が増加すると予想される。組込型は、入退室管理や書類管理で利用されるゲート向け等を中心に市場を拡大していくと見られる。

RFIDプリンタも同様に当初の想定よりも伸び幅は小さく、特に07年はUHF帯RFIDタグ対応製品の充実を待ち、導入を遅らせた企業が多かったことも影響していると推定される。対応媒体別では、ラベルプリンタが先行して台数を拡大していくと見られる。ラベルプリンタの市場拡大速度は決して速いとは言えないが、ラベルプリンタ自体の価格が安いこともあり、カードプリンタ、シートプリンタと比較すると販売台数が多い。カードプリンタは、ゲームセンター等のアミューズメント施設での利用、医療品管理や医療施設での利用が中心である。しかし、Felicaやマイフェア等のICカードの流通が急拡大しているため、カード型のRFIDタグの普及はあまり進まないと見られる。シートプリンタは、現状では普及速度が遅いが、製造業での生産管理に用いられるカンバン(ジャストインタイム生産システムで用いられる生産の指示票)での利用が期待され、サーマルプリンタを製造業向けに提供し

ているメーカーからもシートプリンタ製品の投入が相次いでいる等、徐々に普及に向けての下地は整ってきており2011年頃から普及が進むと見られる。

2. 分野別市場予測



07年では製造分野の占める比率が高いが、この分野は既に導入が進んでいることから2013年に向けた成長率は緩やかとなっている。また、同じく需要が顕在化しているオフィスや公共・教育機関についても需要の拡大が今後も見込まれるものの、成長率は同様に穏やかである。一方、今後需要創出が期待される物流や流通・販売・サービス、交通、医療・福祉、農業・漁業・畜産業などは2013年に向け高い成長率で推移し、特に個品管理や使い捨て用途が市場拡大を後押しすると見られる。

2013年には国際物流への採用が想定される物流分野や、個品管理への採用が想定される流通・販売・サービス分野が市場を牽引して拡大し、全体市場に占める割合も高まると予測される。

1) 物流

2007～2013年

	2007年	2013年予測	07年比	年平均成長率
全体	61億円	1,027億円	16.8倍	60.1%
(内RFIDタグ)	(8億円)	(130億円)	(16.3倍)	(59.2%)

物流が複雑化している中、従来の物流ではユーザーニーズに応えることが困難となってきており、総合物流業の重要性が増している。そのような中、貨物、輸送部材、機器などの場所と状態がいつでもどこでも分かるような技術が求められている。そのため、07年から2013年までの年平均60.1%の成長率を示すと推測され、2013年には1,027億円に達すると予測される。

現状では主に、搬送部材管理や行程管理、ロケーション管理などに採用されているが、今後は入出荷管理や在庫管理、企業の信用向上のために重要性が増しているトレーサビリティなどへの採用が有望と予想される。

大規模システム構築時には導入コストが膨大となり、また投資効果について不明瞭とするユーザーも多いが、入出荷管理、在庫管理はコスト削減を、またトレーサビリティは増収が目的となり、採用が増加すると予測される。

2) 流通・物販・サービス

2007～2013年

	2007年	2013年予測	07年比	年平均成長率
全体	89億円	950億円	10.7倍	48.4%
(内RFIDタグ)	(15億円)	(140億円)	(9.3倍)	(45.1%)

流通・販売・サービス分野における07年の市場は89億円であったが、在庫管理や盗難防止、真贋判定、サポートサービス、キャンペーン用途などを目的とした個品管理への採用が進むと見られるなど、07年から2013年まで年平均48.4%の成長率を示すと推測され、2013年には950億円まで拡大すると予測される。

UHF帯RFIDシステムが心臓ペースメーカーに及ぼす影響や、プライバシー問題が取り沙汰されているが、RFIDタグの低価格化により、特にブランドショップなどの高額商品から徐々に個品管理としての普及が進むと予測される。

3) 製造

2007～2013年

	2007年	2013年予測	07年比	年平均成長率
全体	260億円	813億円	3.1倍	20.9%
(内 RFIDタグ)	(34億円)	(100億円)	(2.9倍)	(19.7%)

製造分野では先行して生産工程管理などの需要が拡大し、07年は260億円の市場となった。リードタイム削減など、投資に対する利益が明確化しやすいことから、今後も堅調な需要拡大が見込まれる。他の分野と比較して導入が先行していることもあり、07年から2013年までの年平均成長率は20.9%と他の分野より低いものの、2013年には813億円に達すると見られる。

現状は生産管理工程、部品/パレット管理、設備機器/工具管理などが主要用途であるが、今後は現状の主要用途に加えセキュリティ管理として作業員入退室管理や位置把握への採用が期待される。

製造現場ごとに異なる個別システムの構築が必要であり、また将来的に物流システムまで拡張する場合には標準化が必要となるが、RFID導入に伴う生産工程の効率化やリードタイムの削減といった効果は明確であり、堅調な需要拡大が予測される。

以上

<調査対象>

RFID関連製品 (合計3品目対象)	1. RFIDタグ 2. RFIDリーダー・ライタ	3. RFIDプリンタ
RFIDソリューション 導入市場分野 (合計9分野対象)	1. 製造 2. 物流 3. 流通・販売・サービス 4. 交通 5. 医療・福祉	6. 農業・漁業・畜産業 7. アミューズメント・イベント・競技 8. オフィス 9. 公共・教育機関 10. その他(1～9以外のその他)
主要参入企業 (合計20社対象)	1. ウェルキャット 2. エヌ・ティ・ティ・コムウェア 3. オムロン 4. 大日本印刷 5. タカヤ 6. デンソーウェーブ 7. 東芝ソリューション 8. 凸版印刷 9. トッパン・フォームズ 10. 日本アールエフソリューション	11. 日本アイ・ピー・エム 12. 日本オラクル 13. 日本電気 14. 日本パレットレンタル 15. 日本ユニシス 16. 日立製作所 17. 富士通 18. 丸紅 19. 三井情報 20. 三菱電機

<調査方法>

富士キメラ総研専門調査員による調査対象先に対する直接面接取材、電話によるヒアリング、社内データベースの活用

<調査期間>

2007年11月～2008年1月

資料タイトル	「RFIDソリューションビジネスの将来展望 2008」
体 裁	: A4判 244頁
価 格	: 97,000円 (税込み101,850円) CD-ROM付 107,000円 (税込み112,350円)
調査・編集	: 株式会社 富士キメラ総研 研究開発本部 第二研究開発部門 TEL:03-3664-5841 FAX:03-3661-7696
発 行 所	: 株式会社 富士キメラ総研 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル TEL03-3664-5841(代) FAX 03-3661-7696 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ http://www.fcr.co.jp/